

浦河賛歌 うららかなまち

作詞 田中光敏 作曲 桜村 真

空
空
大きな空
この町の空を
何度眺めた事だろう

夏の空
雪降る空
春の予感
青空の向こうに
大きな 何かがあることを
いつも 空を眺め 考えていた

僕は ここにいる
そして僕たちの未来は
どこに あるのだろう
僕はこの町にいる
はてしない未来に
想いを 馳せて

海
海
広い海
この町の海を
何度見つめていただろう

カモメ鳴く夏の海
水面に映る夕日
漁り火
幸せの予感
波音は 僕たちの心に
安らぎを 与え
打ち寄せてくる

僕は ここにいる
海のそばの町
波はいつも僕たちを
元気づけてくれた
心に響く 波の音
心に残る 海の町

大地
大地よ
果てしない大地
この町の 大地に
しっかり 足を踏ん張って
僕たちは 生きている

川にいのちのぼる
緑の大地に馬が走る
夢に向かって走り出す

うらかわ この町にいる
この大地が教えてくれた
あたたかな心を
力強く立ち続ける勇気を

この町が教えてくれた
しっかり 踏ん張り
ゆっくりでもいい
一歩 また 一歩
夢に向かって
歩み出すことを